

## 会 議 録

会議の名称	令和7年度第2回茨木市社会教育委員の会議
開催日時	令和8年2月19日(木) 午後6時～午後7時
開催場所	上中条青少年センター 3階会議室
議 長	三川 俊樹
出席者	森 美由紀 今西 幸蔵 藤田 真由美 野村 円 片桐 仁 中川 直樹 椎野 秀幸 古川 美奈子 三川 俊樹 (計9人)
欠席者	なし
事務局職員	森岡 恵美子 教育長 辻田 新一 教育総務部長 中井 誠 市民文化部長 吉田 典子 教育総務部理事兼中央図書館長 前田 聡志 教育総務部歴史文化財課長 今西 雅子 市民文化部次長兼文化振興課長 九鬼 信行 市民文化部スポーツ推進課長 吉崎 幸司 教育総務部社会教育振興課長 村上 智子 教育総務部社会教育振興課参事兼中央公民館館長 伊藤 祐介 教育総務部社会教育振興課課長代理兼社会教育係長 石井 一樹 教育総務部社会教育振興課指導主事 他職員(計13人)
議題(案件)	(1) 今年度の社会教育委員の活動について (2) 令和8年度社会教育の努力目標について
配付資料	会議資料

## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
議長	<p>令和7年度第2回茨木市社会教育委員の会議を開会する。</p> <p><b>【会議の成立】</b>            本日は、9人の委員にご出席いただいております。茨木市社会教育委員条例第6条第3項の規定により本会議は成立。</p> <p>本日の会議は、会議時間短縮を図るため、事前に資料をお送りし、意見も頂戴している。簡潔に議事を進めていきたいので、協力を願いたい。</p> <p><b>【会議の公開】</b>            本会議は、「公開」とし、傍聴者の資料の閲覧及び持ち帰りも許可し、ホームページや情報ルーム設置の会議録の内容については、議長に一任願う。</p> <p>本日の議案に入る。            まず、「今年度の社会教育委員の活動について」、事務局から報告願う。</p>
社会教育振興課長	<p>今年度の社会教育委員の活動について、今年度の社会教育委員を対象にした研修会の概要を報告する。</p> <p>まず、9月5日に、和歌山市にて近畿地区社会教育研究大会が開催予定だったが、台風接近のため中止。</p> <p>次に、11月27日に、大阪市にて、大阪府社会教育研究会議が開催されたが、参加委員はなし。</p> <p>最後に、2月9日に、豊能町にて大阪府社会教育振興協議会北ブロック研修会が開催された。委員が参加予定だったが、前日8日の大雪の影響が残っているとの開催担当町からの情報を踏まえ、当日に参加を見合わせた。</p> <p>報告は以上である。</p>
議長	<p>次に、「令和8年度社会教育の努力目標について」を議題とする。本件については、事前に案文を送付のうえ、各委員からの意見聴取を行った。</p> <p>各委員からの質問・意見と、それらに対する所管課からの回答を取</p>

## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
社会教育振興課長	<p>りまとめた資料を、お手元に配付している。概要について事務局から説明を受けたのち、各委員から、関連する内容について、それぞれの立場からご意見等があればお願いしたい。</p> <p>令和8年度社会教育の努力目標について、主な変更点を申し上げる。</p> <p>冒頭、社会教育を取り巻く状況やそのとらえ方について、現在の社会状況等を踏まえた表現に改めている。</p> <p>人権教育、家庭教育については、令和7年度の取り組みの状況や、来年度に予定している事業内容に合わせて記載を改めている。</p> <p>文化・生涯学習及びスポーツについては、各推進計画を踏まえた各種事業に係る記載を改めている。</p> <p>文化財の保存と活用については、文化財に係る魅力発信の取り組みについて、記載を改めている。</p> <p>図書館については、予定している周年事業を記載し、主だった取り組みについて、記載を改めている。</p> <p>その他、全般にわたり、年度更新を含めた文言・表現の整理を行った。</p> <p>この段階で、各委員には、案を送付し意見をいただいている。いただいた質問・意見を一覧表にまとめ、あわせて所管課からの回答・対応を記載している。</p> <p>いただいた意見を踏まえた修正箇所を説明する。</p> <p>本文1項、人々の繋がりや関わりを自律的共生関係と改め、社会教育が育む人々の関わりを定義するとともに、さまざまな変化に対する「乗り越える力」を「柔軟な対応」に併記している。</p> <p>次に、本文2項、文化・生涯学習及びスポーツに対する「項目」という記載について、より広がりや活動的な意味合いを持たせるため、「分野」に改めている。</p> <p>同じく2項、人権教育の推進について、識字・日本語教室の実施目的の記載として、すべての人々に交流の機会を提供する点を追記している。</p> <p>次に、本文3項、公民館活動の推進について、公民館が持つ社会教育の拠点性を明確にする。また、頭出しして記載している公民館講座におけるテーマについて、必要課題であることを記載するなど、社会教育の観点から整理している。</p> <p>最後に、本文4項、青少年野外活動センターについて、その本分である野外活動、体験活動を主題においた記載に改め、環境整備に係る</p>

## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
議長	<p>記載を追加している。 努力目標の修正については以上。 他にも、努力目標、その他社会教育関連事業に関する意見をいただいている。回答・対応欄の記載のとおりであるが、いただいた意見等を踏まえ、関係課と連携して取り組んでいく。</p> <p>ただいまの説明について、各委員から、意見等があれば発言を願う。</p>
森委員	<p>昨年、テレビ番組で、移動図書館の書籍数のランキングが放映され、茨木市の移動図書館が堂々の第一位であった。 現在、北摂地域は、電子書籍サービスの実施が広がっており、移動図書館を廃止する動きが非常に多くなってきている。 移動図書館の運転手が見つからない等、人材確保の課題もあるが、茨木市の場合は、一人暮らしの高齢者等、たとえ利用者が一人であっても書籍を届けるというような取り組みが紹介されていて、誰一人取り残さないという理念を日常的に具現化されており、評価されている点であると思う。</p>
議長	<p>他に発言なさる方はおられるか。</p>
今西委員	<p>全体として、社会教育の努力目標については、茨木市が一番格調高い文章だと思っている。 関係者の方々がいろいろな課題をうまくまとめてくださっていることに敬意を表したいと思う。 私の意見については、きちんと反映させていただいており、感謝する。 社会教育関係団体の問題については、多くの人で考えるべき段階ではないかと懸念しているが、これはまた改めて議論する必要があることだと考えている。 また、森委員から移動図書館の話があったが、これは大変大切な指摘であると思う。</p>
議長	<p>他に発言なさる方はおられるか。</p>
椎野委員	<p>公民館長の立場で、公民館活動に10年以上携わってきた。 公民館を地域の拠点としていく中では、利用区分を課題と考えている。例えば18時から利用したい場合、17時からの利用区分を予約し</p>

## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
議長	<p>なければならぬように、現在の利用区分だと、利用者の希望に沿えない状況が見られる。コミュニティセンターでも同様であり、困難なことではあると思うが、柔軟な対応ができるように検討ができないかと思っている。</p> <p>また、地域の運営委員をお願いすることが難しくなっている。定年退職の年齢が上がったことで、今までお願いしていた年齢層への声掛けが難しい。今後どういう形で担い手を集めていくかという難しい局面にあると考えている。地域では体育祭もあり、文化展もあり、諸々の行事に対応していかないといけないという状況にあって、現在の担い手の年齢層は高い。今後、若い担い手に集まってもらうことを考えていく必要がある。</p> <p>自治会においても、組織自体が縮小傾向にあるため、地域の行事の際、今までのように自治会単位で数名参加してもらうということのお願いすらも難しくなっている。</p> <p>また、子ども会も減少しているため、子どもを集めることも難しい。自治会等に所属していない層へどのように参加を促すかという点で、今、小学校に協力してもらっている。例えば、体育祭などのチラシを全校生徒に配布してもらい、参加者を募集する。すると、50～60人程度は参加していただいている。</p> <p>こうした状況は、地域組織の対応も含め、今後の公民館を運営するうえでも難しい課題であると考えている。</p> <p>他に発言なさる方はおられるか。</p>
中川委員	<p>子どもにとっての体験活動というのは非常に大事であると考えている。</p> <p>最近のこどもの傾向として、習い事等で経験のあることは得意だが、初めてのことや、慣れないことはできないという子が多い。だからこそ、色々なことを体験することができる野外活動センターの安全面を整えることは大変重要なことだと思う。</p> <p>例えば、学校から参加する際、身体的な配慮が必要な子が参加するための安全性の確認や、テントでの過ごし方などの検討が必要であったり、虫が苦手な子などがいる中で、子どもに多くの体験をさせようと思うと、自然をそのまま体験する大切さも理解できるが、一定の安全性や衛生面の確保も必要となってくる。</p> <p>そうした中で、今年度、野外活動センターへ行った際には、道が舗装されていたり、シャワーの利用が可能になるなど、利用する側とし</p>

## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
議長	<p>ては、環境整備を踏まえた利用方法を検討できるようになったと感じている。</p> <p>こうした環境整備が、野外活動センターの利用者増加につながり、より多くの利用者に体験活動を提供できる場になるのではないかと期待している。</p> <p>他に発言なさる方はおられるか。</p>
片桐委員	<p>茨木市のスポーツ少年団の人数等、組織力は、大阪府下で4番目ぐらいであり、定着率が高い。しかし、少子化の影響は感じている。</p> <p>その中で、スポーツ推進課が行っているキッズスポーツデー等では、様々なスポーツをする機会を均等に与えていただけていると思うが、さらには、各地区の小・中学校とうまく連携できないかと思う。そのために、キッズスポーツデー等の成果や様子などを明記することで、参加者のやりがいにつながるのではないか。</p> <p>また、指導者への講習会も行っている。こうした講習会では、主にこども達やスポーツ少年団員がどれだけスポーツできる環境を整えるかというようなテーマを扱っており、それがスポーツできる環境を整えていくことにつながり、ひいては、地域連携のきっかけになればと思っており、そうした形で地域へ貢献していきたい。</p>
スポーツ推進課長	<p>ご紹介いただいたキッズスポーツデーは、キッズスポーツフェスタ事業として毎年取り組んでいる。事業の成果等は把握しているため、ご協力いただいている各関係団体の皆様になんらかの形でお示しし、モチベーション向上につなげながら事業の推進に取り組んでいきたいと考えている。</p> <p>また、スポーツ指導者の皆さまを対象として、児童に対しての指導方法などをテーマに研修会を実施していくことで、指導への理解や認識を深めていただきながら、実際の活動にも展開していただけるような取り組みを続けていく。</p>
議長	<p>他に発言なさる方はおられるか。</p>
古川委員	<p>今、必要とされているのはつながりだと思っているが、現状では、学校・家庭・地域といった大切なつながりが一番薄れている。</p> <p>こども会の減少も進んでいるが、その要因の多くを占めるのは、地区の運動会などの行事での負担が大きいということ。</p>

## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>こども会は、地域の単位こども会がいくつかあり、そこをまとめる小学校区に校こ連がある。その役員になった場合、公民館や自治会、青少年健全育成協議会等、様々なところに派遣される。すると、例えばふるさと祭り等だと、自分の単位こども会での出店、校こ連での出店、自治会での出店などがあり、何か所も手伝うことになる。さらに、家庭数が減っているため、その負担を同じ人が負うことになる。</p> <p>市こ連においても、その年の若い方が何人が入っていただき、やっってもらっていたが、やはり負担が大きいという意見を受け、役員を固定することとなった。結局、地域のどの会に参加しても顔ぶれが同じになっているのが現状である。</p> <p>しかし、地域で何かをしようとして取り組んでいるこども会もまだまだたくさんある。ただ、自治会もこども会も入っていない家庭が増えているので、地域の行事などをすると周知する方法がなく、会計的にもどうにもならなくなってきている。</p> <p>こども会や自治会への参加者数の減少、役員の高齢化などから、毎年同じようなことを行っており、新たなアイデアなどが見つからないのが現状である。</p>
議長	他に発言なさる方はおられるか。
野村委員	<p>配布資料の中で挙げられている公共図書館と学校図書館との連携やネットワーク化を進めてほしいという意見に非常に感銘を受けた。これまで、連携という言葉は聞くが、それが実態に沿っているのかという疑問を持っていた。</p> <p>こどもは、家庭教育・社会教育・学校教育の3輪で育っていく。学校教育が、すべてのこどもに公平公正に行われるものであるならば、その機会も公平公正に得ることができるものだと考えている。</p> <p>一方で、茨木市内の小中学校の在籍数は地域ごとに差があるが、連携の具体例として挙げられている団体貸出などは、一律に同じ冊数しか貸し出せないといったサービスになっている。また、書架にあるものは10冊まで等、制限があることで、こどもが読みたかった本が借りられなかったというケースも聞いた。</p> <p>こども達の実際の状況に合わせた細やかなサービス対応があれば、より有意義な学びにつながるのではないかと思う。</p> <p>続いて、PTAの現状としては、コロナ禍の影響、女性の就労率の増加、またPTAが任意団体であるという言葉だけが浸透していることもあるのか、加入される方は減少している。それは、PTAの必要性を考</p>

## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
中央図書館長	<p>えたうえで加入しないというより、任意だから入らなくて良いと判断している傾向があるのではないかと考えている。</p> <p>そのため、市PTA協議会の担い手も予算も減少している。そうした中で、負担軽減のためにAIを導入したり、オンライン会議を活用するなどの工夫をしながら、活動を続けており、単位PTAを縦・横につなげながら、こども達を見守っていく形を模索している状況である。</p> <p>学校との連携について、各校同数となるが、団体貸出は最大300冊まで貸し出している。開架の書架に出ている本の貸し出しについては、一般の利用者を優先しており、冊数を制限している。</p> <p>他には、寄贈本を活用したセット貸出も始めており、学校と話をしながら進めていきたいと思う。また、学校の意見を聞く観点から、図書館各館で担当学校を決めており、担当校の訪問を通じ、意見を聞き取りや、図書室の確認活動等を行っている。ご意見も踏まえ、事業周知も含めた取り組みを進めていけたらと思う。</p>
今西委員	<p>関連して、学校図書館司書の現状についてお示し願う。</p>
中央図書館長	<p>今年度からメディアサポーターを配置している。昨年度まではスクールサポーターという形で配置しており、学校の授業等にも関わりながら、図書館も見るという形だったが、メディアサポーターは図書館の専属という配置になる。</p>
今西委員	<p>学校図書館司書は、非常に重要な役割があると考えている。自治体によって有償であったりボランティアであったり形態は様々ある。</p> <p>野村委員がおっしゃったような調べ学習は、教師にとっては負担があるものだが、学校図書館司書に依頼すると、その調べ学習のための情報を書籍中心に集めてくれる。その書籍等はこどもたちにとって非常に豊かな教育につながる。</p> <p>また、学校には学校図書委員長がいるが、担任を持っている先生であったりするため、授業に加えて図書館のことまで管理することは大変負担であると思う。司書教諭は必置であるが、図書館に関することは学校図書館司書、本市であればメディアサポーターに任せ、公共図書館と密接な関係を持ちながら、市内の各学校と連携し、こどもたちに読書の機会を与えていけるような体制を作っていくべきだと考える。</p>

## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
議長	他に発言なさる方はおられるか。
藤田委員	<p>森委員のおっしゃった移動図書館の話について、私自身が相談業務をするなかで、ずっと家にいてコミュニケーションをとる機会がほとんどない方でも、図書館には行けるといふ方がいる。そういった方に向けて、移動図書館のサービスがあることを紹介できれば、コミュニケーションを持つ大切な機会を作ることにつながるの、ぜひ市から対面での関わりが持てる機会の提供をいただきたいと思う。</p> <p>続いて、椎野委員のおっしゃった公民館の状況で挙げられていた、小・中学生向けの講座について、様々なこどもの学習機会につながればいいなと思う。</p> <p>知り合いの塾の講師から、塾等での学習機会があるこどもと、そうでないこどもなど、こどもの家庭環境によって学力に差が出ていると聞いた。公民館やコミュニティセンター等が、学習意欲のあるこどもが学べる場所、さらには不登校だが友達とは遊べるというようなこどもたちの居場所になればいいなと思う。</p> <p>中川委員の、経験したことのあることは得意だが、未経験のことは苦手という話から、スポーツ選手は幼少期からそのスポーツをやっていることが多いと聞くので、こどもの頃から幅広い経験をすることで、様々な可能性を広げられるような場所が、何らかの形で提供できるようになればと思う。</p> <p>最後に私の活動について、今年度は親学習を小学校、高等学校、大学で実施した。</p> <p>小学校で実施した際は、親同士のつながりの希薄さを感じた。PTAや家庭教育学級の減少等により、親同士がつながる場自体が成り立ちにくい状況になっている。そのため、自己流の子育てのスタイルが確立する傾向にあるが、互いの意見を聞いて自分の考えを調整するということが大切にしており、そういった機会が得られない状況には、少し危機感を覚えている。</p> <p>高等学校で実施した際は、対象が高校生になるので、夫婦生活の疑似体験をしてもらった。子育てを夫婦だけとするのではなく、周りで自分たちを助けてくれる人を考えるようなワークショップであったが、親戚やママ友などの候補がなかなか出なかった。このことから、日頃から家庭で親戚等の話題が出づらくなっていることが推測される。こどもを中心とした周囲との関係性の希薄化には、問題意識を持っている。</p> <p>大学で実施した際は、大学生に職場の疑似体験のようなワークショ</p>

## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>ップを行った。その際、参加人数の関係で社会人に1人参加してもらったが、学生にとっては、実際の職場でのコミュニケーションや考え方を聞く良い機会になった。</p> <p>今回のように社会人に参加してもらう形式は初めてだったが、今後機会があれば実際に自治体の体験等ができるようなワークにつなげて行ければいいなと思う。</p> <p>最後に、私の所属している子育てサークルは、イオンタウン茨木太田やアル・プラザ茨木などで活動している。例えば、先日は茨木市危機管理課の協力のもと、子育て世帯の防災体験を行った。避難所の環境や防災グッズなどの疑似体験を通じ、気づきのある時間となった。このように、様々な体験を多くの人でできる機会を作ることができたらいいなと思う。</p>
社会教育振興課長	<p>多くの意見をいただいた中で、今一番の課題は、全ての団体における後継者不足をはじめとした人材不足であると認識している。</p> <p>根本的な解決にはならないが、本市には市内および近隣に多数の大学があるため、この環境を活用していくことが方法のひとつだと考えている。それは、単に大学生に手伝ってもらおうということではなく、大学生自身の成長にもつながり、地域にも良い影響をもたらすような関係性を築いていくことが重要であると考えている。</p>
議長	<p>他に発言なさる方はおられるか。</p> <p style="text-align: center;">(発言する者なし)</p>
議長	<p>以上で議案に対する意見交換を終了する。</p>
議長	<p>それでは、事務局から説明のあった修正を反映させ、各委員からいただいた意見を踏まえたうえで、「令和8年度社会教育の努力目標」を定めさせていただきたいと思う。また、修正等については議長一任とさせていただくことでよいか。</p>
各委員	<p>(異議なし)</p>
議長	<p>異議なしと認め、そのように決定する。</p> <p>「令和8年度社会教育の努力目標について」は、年度当初に各委員に送付させていただく。</p>

## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
議長	以上で、本日本日予定した案件は、全て終了した。 これをもって、令和7年度第2回茨木市社会教育委員の会議を閉会 する。